

令和7年7月9日
北九州市都市ブランド創造局

報道機関各位

第36回特別企画展 ペンと戦争—火野葦平、林芙美子の場合

2025年、わたしたちは戦後80年を迎える。日本は、1945年にアジア・太平洋戦争を敗戦として終えてから、国家を主体とする直接的な戦争を行っておらず、かつてない長い「戦後」を送っている。

一方、現在においても、世界各地で戦争や武力紛争は絶えず、世界は再び戦争の危機に直面している。

かつて、文学はどのように戦争に動員され、文学者はどのように戦争と関わったのか。北九州ゆかりの文学者である火野葦平、林芙美子と戦争との関わりをたどる。

これをとおして、文学という側面から現在も止まない戦争について考えたい。

会 期	令和7年7月19日（土）～令和7年9月28日（日） 9：30～18：00（入館は17：30まで）
会 場	北九州市立文学館「1階企画展示室」（小倉北区域内4-1）
観覧料	無料

【開会式】7月19日（土）10：00～10：15

主催者（市長、館長）あいさつ、来賓あいさつ、テープカット

【関連イベント】

○開館記念講話：令和7年7月19日（土）11：00～12：00

講師：五味渕 典嗣さん（早稲田大学教授）

演題：「戦場を見つめる—火野葦平・林芙美子の日中戦争—」

○講 演 会：令和7年8月10日（日）13：30～15：00

講師：奥泉 光さん（芥川賞作家）

演題：「物語と戦争—小説は戦争をどう描くのか」

○文 学 講 座：令和7年8月30日（土）、9月13日（土）13：30～15：00

○朗 読 会：令和7年8月17日（日）13：30～14：30

○学芸員による展示解説：令和7年8月16日（土）、9月23日（火・祝）各回14：00～

○協賛映画上映：令和7年8月2日（土）～8月8日（金）※小倉昭和館

※ 企画展・関連イベントの詳細については、別添「チラシ」をご覧ください。

【問い合わせ先】

北九州市立文学館

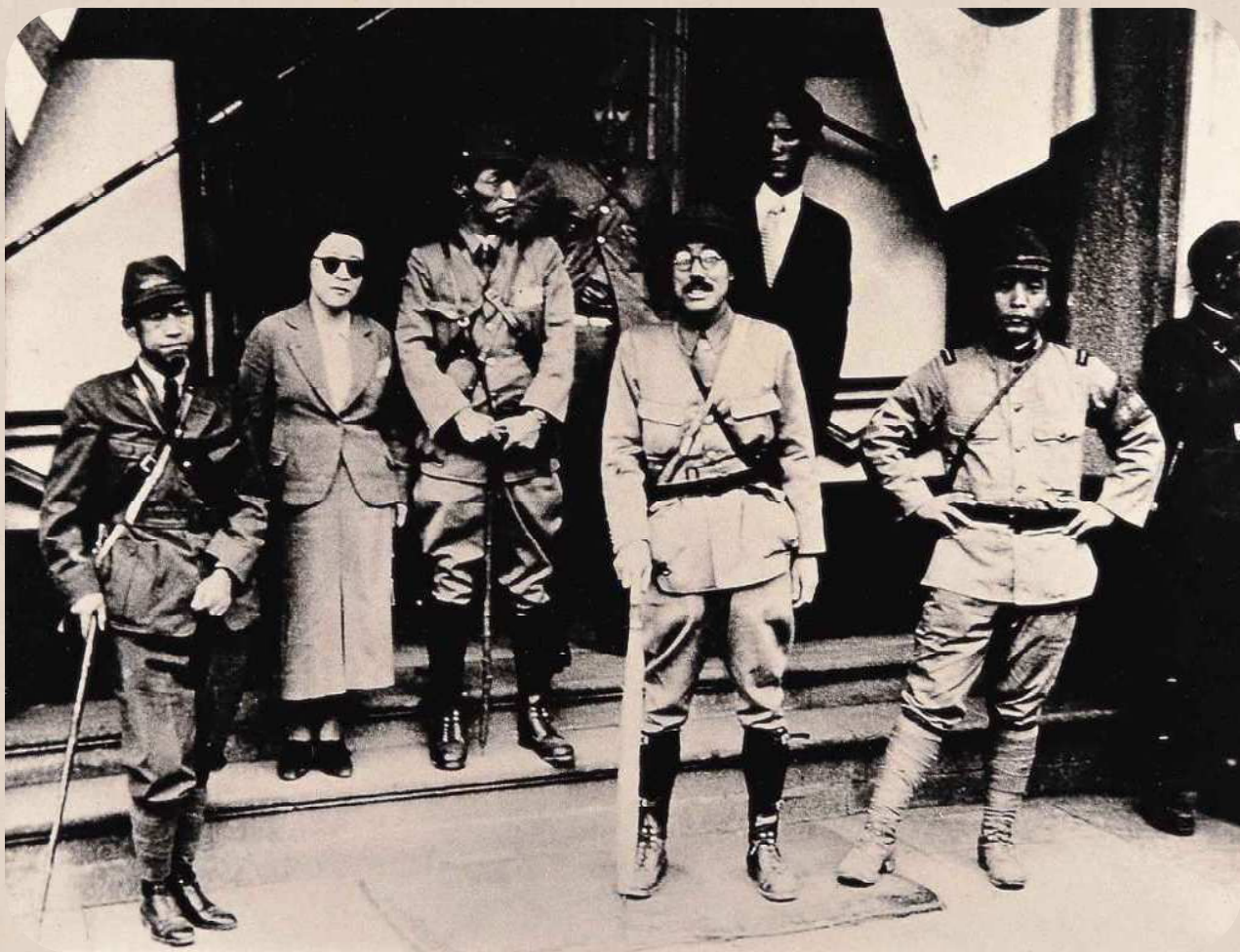
担当 大和、山家

Tel 093-571-1505 Fax 093-571-1525



文学館ホームページ

北九州市立文学館 第36回特別企画展



1938年9月、林芙美子らペン部隊を上海で迎える火野葦平
左2人目から林芙美子、片岡鉄兵、久米正雄、火野葦平

2025 7.19(土) sat → 2025 9.28(日) sun

■開館時間／9:30 — 18:00 (入館は17:30まで)

※初日は開会式のため、10:30から開場

■休館日／月曜日

(ただし、7月21日、8月11日、9月15日は開館、翌日休館)

■観覧料／無料

■主催／北九州市立文学館

■協力／新宿区立新宿歴史博物館

■後援／朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、
西日本新聞社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、
KBC、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、
テレQ、CROSS FM



北九州市立文学館
Kitakyushu Literature Museum

— 火野葦平、林芙美子の場合 —

戦争と

戦後80年

徐州作戦でメモを取る火野葦平



ひのあしへい 火野葦平 (1906-1960)

本名、玉井勝則。若松で石炭沖仲仕業を営む玉井組の長男として生まれる。1938年、日中戦争従軍中に芥川賞受賞。その後発表した従軍記『麦と兵隊』がベストセラーとなる。戦後は一時、公職追放となるが、のち解除。『花と龍』などの代表作を発表した。



1945年の終戦から今年で80年、日本はかつてない長い戦後のうちにあります。前線と銃後—生活のすべてを覆ったあの総力戦で、文学はどのように動員され、文学者はどのように戦争と関わったのか。北九州ゆかりの作家である火野葦平と林芙美子をおして、戦時下の文学者のあり方を見つめます。



ペン部隊として従軍中、輸送船内の林芙美子

はやしふみこ 林芙美子 (1903-1951)

本名、フミコ。門司生まれ(下関生誕説あり)。1930年、自伝的日記体小説『放浪記』がベストセラーとなる。日中戦争では、ペン部隊に加わり、『戦線』『北岸部隊』などの従軍記を書いた。戦後、戦争で傷ついた人びとを描く短編や代表作『浮雲』を発表した。

火野葦平(兵隊三部作)

左から『麦と兵隊』(1938.9)『土と兵隊』(1938.11)『花と兵隊』(1939.8)、すべて改造社



火野葦平
従軍手帳
「インパールIII」
1944.7.4

火野葦平自筆の
インパール作戦
進軍地図



林芙美子
『戦線』
朝日新聞社
1938.12



林芙美子
『北岸部隊』
中央公論社
1939.1



陸軍省報道部から林芙美子へ
南方視察のために発行された旅行券
1942.9.14

撮影／山口真由子



奥泉光 おくいずみ ひかる

作家。1956年山形県生まれ。94年「石の来歴」で芥川賞受賞。著書に『ノヴァーリスの引用』(野間文芸新人賞)、『神器—軍艦「樫原」殺人事件』(野間文芸賞)、『東京自叙伝』(谷崎潤一郎賞)、『雪の階』(柴田錬三郎賞、毎日出版文化賞)、『虚史のリスム』(毎日芸術賞)など多数。最新著『虚傳集』所収の『清心館小伝』で川端康成文学賞受賞。2012年から芥川賞選考委員を務める。いとうせいこう氏との文学ライブ「文芸漫談」も人気。

奥泉光さん 特別講演会

「物語と戦争 —小説は戦争を どう描くのか—」

日時 8月10日(日)
13時30分～15時

会場 J:COM北九州芸術劇場
小劇場(リバーウォーク北九州6階)

定員 120人 参加無料

申込 7月3日(木)から
電話受付
☎093-571-1505

WEB受付は
こちら▶



1 開会記念講話「戦場を見つめる —火野葦平・林芙美子の日中戦争—」

日時 7月19日(土)11:00～12:00

講師 五味潤典嗣さん(早稲田大学教授)

会場 北九州市立文学館 交流ひろば

申込 7月3日(木)から電話受付(☎093-571-1505)

2 文学講座 ①「広東からマニラへ —戦地の文化運動—」

日時 8月30日(土)13時30分～15時 講師 坂口博さん(火野葦平資料の会会長)

②「芙美子と戦争」

日時 9月13日(土)13時30分～15時 講師 今川英子(北九州市立文学館館長)

3 朗読会

日時 8月17日(日)

朗読 野口和夫さん(直方林芙美子顕彰会)

13時30分～14時30分 ▶火野葦平、林芙美子の戦争に関わる作品を朗読します。

2 3 共通

会場 北九州市立文学館 交流ひろば 定員 60名(先着)

申込 8月5日(火)から電話受付(☎093-571-1505)

4 学芸員による 展示解説

日時

- ① 8月16日(土)
- ② 9月23日(火・祝)
- ③ 9月23日(火・祝)
- ④ 9月23日(火・祝)
- ⑤ 9月23日(火・祝)
- ⑥ 9月23日(火・祝)
- ⑦ 9月23日(火・祝)
- ⑧ 9月23日(火・祝)
- ⑨ 9月23日(火・祝)
- ⑩ 9月23日(火・祝)
- ⑪ 9月23日(火・祝)
- ⑫ 9月23日(火・祝)
- ⑬ 9月23日(火・祝)
- ⑭ 9月23日(火・祝)
- ⑮ 9月23日(火・祝)
- ⑯ 9月23日(火・祝)
- ⑰ 9月23日(火・祝)
- ⑱ 9月23日(火・祝)
- ⑲ 9月23日(火・祝)
- ⑳ 9月23日(火・祝)
- ㉑ 9月23日(火・祝)
- ㉒ 9月23日(火・祝)
- ㉓ 9月23日(火・祝)
- ㉔ 9月23日(火・祝)
- ㉕ 9月23日(火・祝)
- ㉖ 9月23日(火・祝)
- ㉗ 9月23日(火・祝)
- ㉘ 9月23日(火・祝)
- ㉙ 9月23日(火・祝)
- ㉚ 9月23日(火・祝)
- ㉛ 9月23日(火・祝)
- ㉜ 9月23日(火・祝)
- ㉝ 9月23日(火・祝)
- ㉞ 9月23日(火・祝)
- ㉟ 9月23日(火・祝)
- ㊱ 9月23日(火・祝)
- ㊲ 9月23日(火・祝)
- ㊳ 9月23日(火・祝)
- ㊴ 9月23日(火・祝)
- ㊵ 9月23日(火・祝)
- ㊶ 9月23日(火・祝)
- ㊷ 9月23日(火・祝)
- ㊸ 9月23日(火・祝)
- ㊹ 9月23日(火・祝)
- ㊺ 9月23日(火・祝)
- ㊻ 9月23日(火・祝)
- ㊼ 9月23日(火・祝)
- ㊽ 9月23日(火・祝)
- ㊾ 9月23日(火・祝)
- ㊿ 9月23日(火・祝)

申込不要

5 協賛上映 小倉昭和館

2本立て ¥1500

8月2日(土)～8月8日(金)

8/2 スペシャルトーク 今川英子

上映作品

陸軍(原作:火野葦平)

松竹 1944年/監督:木下恵介、出演:田中絹代、笠智衆

下町(原作:林芙美子)

東宝 1957年/監督:千葉泰樹、出演:山田五十鈴、三船敏郎

詳細は小倉昭和館(☎093-600-2923)へ

北九州市立文学館

Kitakyushu Literature Museum



〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1

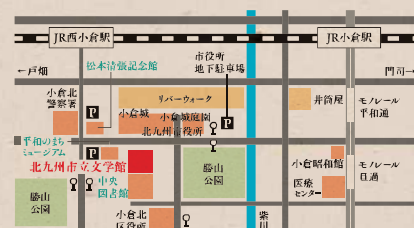
TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525

https://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/

Access

- JR小倉駅より徒歩15分
- JR西小倉駅より徒歩10分
- 市立中央図書館・文学館前バス停より徒歩1分
- 北九州市役所前バス停より徒歩2分
- 小倉北区役所前バス停より徒歩2分
- 北九州都市高速大手ランプより2分

駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい。



勝山公園周辺の 戦後80年 特別企画

北九州市立中央図書館

戦後80年企画展示
7月2日(水)～9月28日(日)

北九州市平和のまちミュージアム

企画展
「記憶の表象—継承とは何か、を問う—」
7月23日(水)～10月13日(月・祝)

北九州市立松本清張記念館

企画展
「軍都の風景と占領の影 松本清張の戦前・戦後」
9月20日(土)～11月24日(月・振休)